

# 災害 -火災-

## 火災に備えよう

災  
害

### 火災への備え



火災発生時の逃げ遅れを防止するため、住宅用火災警報器を設置する。



火災の拡大を防ぐために、じゅうたんやカーテン類は防炎品を使用する。



ストーブを使用する時は、燃えやすいものを近づけない。



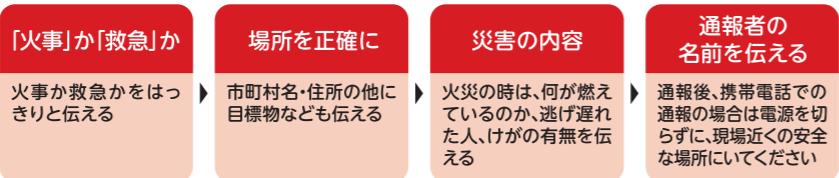
被害を最小限に防ぐため、消火器を設置する。

※火災から命を守るため、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化されています。設置後は、定期的に作動確認しましょう。

帯広消防署指導課 TEL 0155-26-9131

### 119番通報のポイント

- 119番通報は安全を確保してから行う。
- 落ち置いて、火災やけが・病人などの状況をできるだけ詳しく伝える。



### 初期消火のポイント

- 1 早く知らせる
  - 「火事だ！」と大声で叫び、周囲に助けを求める。
  - 小さな火事だと思っても、早く119番に通報する。
- 2 早く消火する
  - 水や消火器(なければ毛布や座布団)を活用して一刻も早く消火する。
  - てんぷら油火災では絶対に水をかけてはいけない(鍋のフタを被せると有効)。
- 3 早く逃げる
  - 天井に火が燃え移ると、火災は一気に拡大するので速やかに避難する。

**⚠ あくまでも逃げることが優先です！決して無理はしない！**

### 火災時の避難のポイント

- 1 火災の煙には有毒ガスが多く含まれています。煙の中を逃げる時は、煙を吸わないように姿勢を低く。
- 2 避難する時、燃えている部屋のドアを閉め、延焼や煙の拡大を遅らせる。
- 3 服装や持ち物にこだわらずできるだけ早く避難する。
- 4 すぐに避難できるように、住宅用火災警報器を設置のうえ維持管理をする。廊下や階段には物を置かない。
- 5 逃げ遅れた人がいる時は、近くの消防隊にすぐに知らせる。



# 災害 -その他の災害-

## 暴風雪

災  
害

冬期間、低気圧の通過などによる暴風雪によって、停電や遭難などの災害が発生するおそれがあります。事前に気象情報を把握して、早めの備えをしておくことが大切です。

### 暴風雪に遭遇した場合

雪による視界不良(ホワイトアウト)のため方向感覚がなくなり、自分の位置が分からなくなることや吹きだまりが発生する場合があります。

#### ○屋外にいる場合

- スーパーやコンビニ、人家など建物の中の安全な場所に移動して天気の回復を待ちましょう。
- 歩行中は風で飛ばされてくる物に注意しましょう。
- 重ね着や肌の露出を少なくし、体温が低下しないようにしましょう。



#### ○家の中にいる場合

- FF式暖房機などの給排気口が吹きだまりで塞がれていると、一酸化炭素中毒を起こす可能性があるため、給排気口が塞がれていないか確認しましょう。
- 出入口を確保するため、吹きだまりの状況を見ながら除雪を行いましょう。



#### ○車を運転している場合

- 運転中に暴風雪となり視界が悪くなった時は、運転を続けることは危険であるため、道の駅など安全な場所に停車し、天気の回復を待ちましょう。また、気象情報や道路状況を確認しましょう。



### 車で立ち往生した場合

- 後続車からの追突を防ぐため、ハザードランプを点滅させ、停止表示板を置きましょう。
- 近くに避難できる場所や救助を求められる人がいない場合は、ロードサービスや警察・消防へ連絡し救助を求めましょう。

### 車内で救助を待つ場合の注意点

#### ⚠ 原則エンジン停止

一酸化炭素中毒の危険をなくすにはエンジンを切ることが大切です。防寒着や毛布、新聞紙などで体温の低下を防ぎましょう。



#### ⚠ 一酸化炭素中毒の危険性

車が雪に埋もれた時にエンジンをかけ続けると排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険性が生じます。埋もれ方が深いほど危険であり、窓を開けていても絶対安全とは言えません。また、風向きや窓の開き具合などの条件によっては、窓を開けていても閉めているときより一酸化炭素中毒の危険性が高くなることもあります。



#### ⚠ エンジンをかける時は

暖房などのためにエンジンをかける時には、排気口(マフラー)の周囲を確実に除雪しましょう。



OBIHIRO BOUSAI GUIDE